

学生コーディネーター企画

ボランティア相談室

2019/04/09~18

4月9日（火）～18日（木）の間、平日の昼休みにボランティアセンターで、『ボランティア相談室』を実施しました。

この企画は、学生コーディネーターが、来室した学生の相談にのることを通して、ボランティアに対する悩みや不安を軽減したり、学生のニーズに合ったボランティア活動を紹介したりすることで、実際に活動につなげたりすることを目的としています。

昨年度の10月以来、2回目の実施となった今回の『ボランティア相談室』では、新入生を主な対象とし、実施時期を新学期が始まる4月に設定しました。

さらに、『ボランティア相談室』では、今回新たに二つのことに取り組みました。

一つ目は、冊子作りです。ボランティアセンターに登録している学内団体の情報や首都大独自のボランティアプログラムの紹介、ボランティアセンターが行う企画をまとめた1年間のスケジュールを掲載した冊子を学生コーディネーターが作成しました。

これにより、来室した学生に学内団体の紹介が

しやすくなり、学内団体の活動に関心をもってもらうきっかけをつくることができました。

二つ目は学生コーディネーターの紹介プレートの作成です。今回の『ボランティア相談室』では、ボランティアセンター前の廊下に掲示板を用意し、その日の担当学生コーディネーターの学部・学科、学年、興味のあるボランティアの分野を記載した紹介プレートを掲示しました。

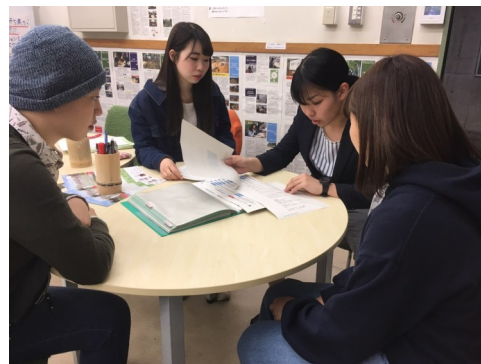
学生によっては、「課題や実習が多く、ボランティア活動をする時間がない！」と感じているのではないかと、自分と同じ学部・学科に所属する学生の生活を参考にすることで、忙しい中でもボランティア活動に参加できるようになるのではないかと、との学生のアイデアからこの取組が実現しました。

これにより、新入生をはじめとした学生が、同じ学部・学科の学生に相談したり、自分の専攻や興味のある分野に近いボランティア活動について話を聞くことができたりするようになりました。

『ボランティア相談室』の実施期間中には、10人の学生がボランティアセンターに来室し、実際に学生コーディネーターに相談する様子が見られました。

この時期に実施したことで、新学期における学生の動きやボランティア相談の内容・傾向を知ることができましたが、企画自体の事前周知の方法や実施の時間帯の設定に課題が見えたので、今後の学生コーディネーターとしての活動に生かし、改善していきたいと思っています。

学生コーディネーター 井上七海



ボランティア相談に応える学生コーディネーターの様子



学生コーディネーターが作成した
ボランティア相談室のチラシ

学生コーディネーターが作成した
『学内団体紹介冊子』

